

授業コード□Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 □Semester	授業形態・単位数□Style・Credits	必修選択の別□Compulsory subjects or optional subjects
j29311	社会的養護Ⅱ	宇田川 政男	2年次・後期	演習・1単位	保育士必修

授業の概要 / Course Outline
<p>社会的養護の基礎的な内容、施設養護及び家庭養護の計画・記録・自己評価について理解する。具体的には個々の子どもに応じた支援計画の作成、日常生活の支援・自立支援等の方法と技術を理解するとともに、保育者としての支援力を習得する。社会的養護に関わる相談援助の方法・技術、子ども虐待の防止と家庭支援について理解する。</p>

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 □Relationship with the diploma policy
1. 社会的養護における子どもの権利擁護について理解する。	A-② B-②
2. 施設養護および家庭養護の役割や機能について理解する。	A-② B-②
3. 自立支援計画、児童発達支援計画書等の作成の意味と留意点を理解する。	A-② B-① B-②
4. 児童福祉施設での保育士の役割を学び、支援者としての援助実践力を身に付ける。	A-① B-② C-①

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	60%	講義内容の理解を問う
レポート試験 Report Examination	20%	授業中に行うリアクションペーパー
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	20%	授業への参加、授業内での課題の提出状況など総合的に評価

教科書 / Textbooks
<p>小木曾宏 他編著(2022)『よくわかる社会的養護Ⅱ』(ミネルヴァ書房)</p>

参考書 / Reference Books
<p>授業内に適宜紹介する。</p>

予習・復習 / Preparation・Review
<p>授業内容に関わる教科書の該当部分を読んで予習し、授業後は該当箇所を読み復習すること(予習復習の時間は90分程度)。</p>

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
<p>最終授業時にフィードバックを行う。</p>

その他 / Others
<p></p>

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	オリエンテーション
	社会的養護の概要を学習し、内容を理解する。
02	施設養護の現状(生活支援と暮らし)①□
	児童養護施設における日常生活支援と暮らしについて理解する。
03	施設養護の現状(生活支援と暮らし)②
	乳児院・母子生活支援施設における日常生活支援と暮らしについて理解する。
04	施設養護の現状(生活支援と暮らし)③
	障害児入所施設・情緒障害児短期治療施設・児童自立支援施設における日常生活支援と暮らしについて理解する
05	家庭養護の現状
	里親制度、養子縁組制度などの家庭養護における現状と特性について理解する。
06	保育士の専門性に関わる知識・技術 (事例検討)①
	心の傷を癒し、心を育むための援助や心理的支援について理解する。
07	保育士の専門性に関わる知識・技術 (事例検討)②
	親子関係への援助・支援や親子関係の調整について理解する。
08	保育士の専門性に関わる知識・技術③
	社会的養護におけるソーシャルワークの知識・技術とその応用について理解する。
09	支援計画の作成
	個々の子どもに応じた自立支援計画や児童発達支援計画の作成の意味と留意点を理解する。
10	記録および自己評価
	施設養護及び家庭養護の計画・記録・自己評価について理解する。
11	今日の児童養護問題と保育実践及び保育専門職(保育士)
	今日の児童養護問題と保育実践及び保育専門職(特に保育士)の役割と支援について考える。
12	地域・社会関係機関との連携・支援
	地域福祉や社会関係機関との連携や支援について理解する。
13	被虐待児童の理解と対応
	被虐待児童への対応および虐待防止について理解する。
14	子どもの権利擁護と保育士の倫理及び責務
	社会的養護における子どもの権利擁護と保育士の倫理及び責務について考える。
15	まとめ
	授業内容の総括を行う。